

平成30年度学校評価(1学期末評価・中間評価)

学校名 大分県立宇佐支援学校

前年度評価結果の概要
○全校児童生徒の情報共有やチェックシートによる指導の振り返り、課題に応じた人権研修等により、児童生徒の人権に視点をいた実践を行うことができた。
○互見授業の実施による課題の共有や年間指導計画と個別の指導計画の連動、評価を意識した具体的な記述を基にした授業等により、一人一人に応じた授業や支援を行うことができた。
○防災を視点とした避難所体験の訓練実施や実際の緊急時マニュアルの作成及びシミュレーションの実施、積極的なインシデント報告の実施等により、現実的な学校安全体制が整備されてきている。
●人権に視点をいた、一人一人に応じた授業を個々の教員が実践できるまでに高め、児童生徒の自立を目指し、進路を保障する必要がある。
●災害時に対応した防災マニュアルや生徒の課題行動に対応したマニュアル等を完成させ、教員一人一人が共通理解のもと、迅速に行動できる学校体制を構築する必要がある。
●引き続きホームページによる頻繁な情報発信や外部機関との連携により、校内の実践や課題を地域と共有して、児童生徒を高める必要がある。

学校教育目標
児童生徒一人一人の尊厳を重んじ、個々の能力・特性に応じた適切な教育を行い、生きる力を育むとともに、自信をもって社会参加・自立をめざす明るく豊かな心を持った人間の育成に努める。
中期目標
○「人権尊重の視点」を活用した授業実践及び進路指導
○生徒指導・防災・緊急時対応のマニュアルの完備と実践
○地域・関係外部機関との連携強化と積極的な情報発信
重点目標
○「人権尊重の視点」を活用した授業実践及び進路指導
○生徒指導・防災・緊急時対応のマニュアルの完備と実践
○地域・関係外部機関との連携強化と積極的な情報発信

Table with 7 main columns: 重点目標, 達成(成果)指標, 重点的取組, 取組指標, PL SL, 検証結果(自己評価), 学校関係者評価. It contains detailed data for three main categories: 1. 「人権尊重の視点」を活用した授業実践及び進路指導, 2. 生徒指導・防災・緊急時対応のマニュアルの完備と実践, 3. 地域・関係外部機関との連携強化と積極的な情報発信. Each row includes specific indicators, actions taken, and evaluation results.

※ 1学期末評価においては、学校関係者評価は不要